

## 1 概要

仙台医療圏の病院に係る仙台市との協議について、4回目の協議を行ったもの。

## 2 日時

令和6年6月7日（金）午後1時から午後3時まで

## 3 場所

仙台市役所8階 第一委員会室

## 4 出席者

### (1) 仙台市

郷湖健康福祉局長、川口理事、川口次長、松本保健衛生部長、清水障害福祉部長、武藤救急部長、佐々木医療政策課長、佐藤精神保健福祉担当課長、佐々木救急企画課長

### (2) 宮城県

志賀保健福祉部長、大森副部長、小林医療政策課長、鈴木県立病院再編室長、齋藤地域医療連携担当課長、村上精神保健推進室長

## 5 協議内容

以下について、県と市が資料に基づいて説明した後、意見交換を行った。

（主な意見交換の内容は次ページ）

### 【県からの説明】

救急搬送影響シミュレーション、精神医療に関する仙台市からの質問への回答、定量基準による機能別病床数

### 【仙台市からの説明】

第1～3回協議を踏まえた市の見解、仙台市立病院精神病床の現状

## 6 今後の進め方

次回協議の開催時期、内容については、別途調整を行う。

主な意見交換の内容

協議項目	仙台市からの意見	県からの意見	まとめと次回までの調整事項
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>三次医療機関に搬送される軽症患者の取扱いや、新東北労災病院への市外搬送を想定する地域など、県とは認識の違いがあるため、現場の実情を踏まえた試算条件の精査が必要</li> <li>消防の現状とかい離していないシミュレーションが必要であり、その調整をしている段階と認識</li> <li>市としては将来的に医療需要がますます増加する中で病院が移転することの影響を懸念しており、シミュレーションへの反映方法について改めて相談したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前相談の上、市の意見を極力反映した条件によりシミュレーションを行ったものであり、今後、どこまで精緻化するか見極めが必要</li> <li>市が提案する条件に合理的でないと思われる部分もあり、現場の意見との擦り合わせをしながら、改めて調整したい。</li> <li>将来の医療需要増は病院再編で全て決着がつくものではなく、救急車の適正利用や後方支援病院など、救急搬送に回る医療需要を抑制する施策が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の救急搬送件数シミュレーションは、暫定版として取り扱う。</li> <li>シミュレーションへ反映可能な前提条件について、協議・精査を行う。</li> </ul>
精神医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模もスタッフ数も縮小されるサテライトでは、医療提供機能は低下するため、「にも包括」体制が損なわれるものであり、仙台市、県南部に大きな影響が懸念される</li> <li>移転に伴う現利用者の治療中断や病状悪化を懸念。</li> <li>精神医療センターを中心としたネットワークによる「にも包括」が構築されており、移転による太白区の住民を中心とした患者の不利益に目を向けなければならず、市の南から北に移るだけの問題ではない。</li> <li>富谷市への移転は身体合併症への対応が理由だと思うが、県が考える具体的な移転のメリットが見えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで精神医療センターが「にも包括」の役割を担ってきたのは事実であり、サテライトでも必要な機能は維持する前提である。</li> <li>当事者との意見交換・議論は今後も積み重ねていくが、一方で移転に賛成する患者や仙台市民の声もあることは理解いただきたい。</li> <li>合併症対応のほか、富谷市の土地であれば老朽化した建物の早期建替えが可能なのが大きなメリットの一つである。</li> <li>サテライト案について、身体合併症対応のため、仙台市立病院との連携体制を構築したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台市立病院の病床稼働率の課題等について、今後の議論の参考とするため、現在の入院患者数の内訳（認知症、身体合併症等）を、市から県に提供する。</li> </ul>